
キラキラ星

まめご

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キラキラ星

【コード】

N50830

【作者名】

まめご

【あらすじ】

たった10センチ。

近づきたい、近づけない、臆病なあたしにとっては遠い距離

恋とピアノと名曲と。

絵理子は幼馴染の優介が好き。

でもなまじ近すぎて……。

片思いでもやもやんな話。 T I I N A M Iより転載作品。

ドド ソ ソ ラ ラ ソ

ドド ミ ド ファド ミ ド

「聞いたぞ。山内のこと、ふっただったって?」

「情報早いね。昨日コクられたよ」

「なーにが悪かったんだ。あいつは頭もいいし、スポーツできるし、顔もいい」

「性格が悪かった。有り難く思えない態度がみえみえで」

「マジでか」

あたしの横には幼馴染の優介がいる。二人でピアノ用の椅子に座って鍵盤をたたいている。

あたしは右手でメロディーを。

優介は左手で伴奏を。

作曲家知らずのキラキラ星。幼稚園の頃、ピアノの発表会でひいた曲。

その時から優介との距離は変わっていない。

たった10センチの短い距離。

ああ、神さま。あたしは本当に憶病者です。

同じ所をグルグルしているまま、高校生になってしまいました。

白い鍵盤を叩いている手に触れられたいと願っているのに。

ソ ソ ファファミミレ

ミ ソ レ ソ ド ソ ミ ソ

ソ ソ ファファミミレ

ミ ソ レ ソ ド ソ ミ ソ

「な、絵理子。お前、好きなやつがいるんだろう」

びくんと心臓がはねた。

ええ、いますとも。あんただよ、あんた。

「なんで知ってるのよ」

「見ていりゃわかるよ」

もう、神さま。こいつは敏感なくせに超鈍感です。

それとももしかして全て知った上でカマかけているのか？

「もし、お前がこっぴどく振られて失恋しても、おれが胸を貸してやるよ」

思わずため息が出た。

そうだった、そんな複雑な思考回路を持つやつじゃなかった。

無邪気ってなんて残酷。

あんたに振られても、あんたの胸で泣かせてくれるの？

嫌だよ、振られた相手に同情されるなんて、屈辱以外の何物でもない。

結局あたしは、また一人でグルグルするしかない。

「…………馬鹿」

なんて言ったらいいかわからなくて口をとがらせると、優介はふふと笑った。

「なんとも」

ドドソソララソ

ドドミドフアドミド

あたしの横には優介がいる。

その距離、たった10センチ。

友達には近すぎる、恋人には遠すぎる微妙な距離。

ファファミミレレド

レシドラファンド

たった10センチ。

近づきたい、近づけない、臆病なあたしにとっては遠い距離。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5083o/>

キラキラ星

2011年6月18日12時34分発行